

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 315

事務事業名	家畜診療所運営事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	開 健一	内線	253

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040104	魅力ある農林水産業の振興
施策		畜産業の振興
関連施策		

会計	一般	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	4	畜産業費
事業コード	040000	家畜診療所運営費助成事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	長崎県北部農業共済組合大東支所		
意図 対象をどのような状態にしたいか	家畜診療所の運営及び診療体制の充実強化を図り、市内畜産農家の経営安定と畜産振興を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	長崎県北部農業共済組合大東支所大村地区担当獣医師の人件費と運営費を負担し、市内畜産農家の家畜診療及び防疫に努める。大村市は家畜診療所人件費(大村地区担当獣医師2人分)の2/10以内(3,663千円)と運営費の(2,000千円)を負担する。		
事業期間	昭和 49 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 獣医師数	計画値	2	2	2	2	
		実績値	2	2	2		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	① 診療件数(牛・豚)	計画値	1,200	1,200	1,200	1,200	
		実績値	873	1,051	1,174		
	達成度	%	72.8%	87.6%	97.8%		
②		計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	5,663	5,663	5,663	5,663	5,663	5,663	5,663	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	5,663	5,663	5,663	5,663	5,663	5,663	5,663	
② 人件費(千円)	397	378	353	364	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	事業概要 のとおり	事業概要 のとおり	事業概要 のとおり	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	6,060	6,041	6,016	6,027				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	畜産農家の減少に伴い、家畜頭数も減少傾向にあるが、診療件数は増加傾向にある。その要因として、経営の安定化を目指し、伝染病や治療(診断を含む)に対する早期発見の意識が高まっているものと考えられる。このため、病傷事故の減少や健全な経営に繋がっており、今後も家畜診療所の果たす役割は大きいので、獣医師の確保に向けた対策は必要である。
事業が抱える問題・課題等	家畜の事故及び疾病を極力出ないような体制を維持するには、診療体制の見直しや獣医師の確保・維持に努める必要がある。しかしながら、家畜診療所の運営はかなり厳しい状況にあるため、今後、負担金の増額を図らなければならない可能性が出てくるものと思われる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	畜産経営上、家畜の死傷・病傷事故は避けて通れないものであり、未然防止及び発生後の緊急対応のために、獣医師の確保は必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	畜産農家においては、伝染病等を予防しなければ病気が蔓延する恐れがあり、畜産経営存続の危機を招く。また、獣医師の対応と衛生管理の徹底を怠ると、周辺住民の生活環境の悪化を招くため、市が関与し関係機関と連携することにより、防疫強化が図られる。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	基本獣医師2人で防疫・診療を行っているが、大きな事故・病気等の発生もなく未然に防止され、目的は達成されている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本事業の実施により家畜の事故等が未然に防止でき、畜産農家の経営安定が図られている為、効果的な事業である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	大村市独自で獣医師を雇用すると相当の負担が発生する。獣医師の人件費及び家畜診療所の運営費の一部を助成することにより、最小限必要な獣医師の確保が出来るため、最適な手段である。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	人件費(獣医師2人)の2/10以内(3,663千円)と、運営費の一部(2,000千円)を負担する。						

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	コスト削減による畜産農家への影響も懸念されるが、現時点における農家への影響もないため現状維持とする。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。